

データ入稿ガイド

データ作成上の注意事項

平成15年5月



基本編

データ入稿時に整理してください。

未使用の写真、テキスト等が入稿時の媒体内に入っている場合が見受けられます。使用データを明確化するためにデータ整理を行って下さい。

詳細

入稿時のデータ内に、使用していないデータ（テキスト、使用されていない写真等）は入れないようにし、下記のように整理を行ってから入稿して下さい。



名前	修正日	容量	種類
Shiroishi_TirashiA	2000年10月14日(土)、11:10AM	176K	QuarkXPress™書類
写真	2000年10月17日(火)、2:53PM	—	フォルダ
12101191_01	2000年10月17日(火)、2:46PM	668K	Adobe Photoshop® 5.0 書類
shiraishp02	2000年10月14日(土)、11:05AM	7 MB	Adobe Photoshop® 5.0 書類
素材	2000年10月17日(火)、3:44PM	—	フォルダ
16休操2	2000年10月14日(土)、11:06AM	128K	Adobe Illustrator® 8.0.1 書類
みやぎ国体ロゴ	2000年10月14日(土)、11:07AM	152K	Adobe Illustrator® 8.0.1 書類
一口メモ	2000年10月17日(火)、3:44PM	48K	Adobe Illustrator® 8.0.1 書類
開会式	2000年10月17日(火)、3:01PM	48K	Adobe Illustrator® 8.0.1 書類
飾り罫	2000年10月13日(金)、3:49PM	52K	Adobe Illustrator® 8.0.1 書類
波線	2000年10月13日(金)、2:54PM	56K	Adobe Illustrator® 8.0.1 書類
枠01	2000年10月13日(金)、3:56PM	36K	Adobe Illustrator® 8.0.1 書類

仙台リビング新聞社・Machintoshの基本設定は下記のようになっています。

当社は、さまざまなプロダクション等からデータを受けて作業を行っています。それらのデータに対応するべく Machintosh のアプリケーションの設定をデフォルトに近い状態で作業を行っています。そのため、市販の文字詰めソフトやデフォルトを変えて作成したデータを扱うと文字組がくずれてしまう等の恐れがあるため、それらの情報をお伝えください。

詳細

市販の文字詰めソフトを使用した場合、あるいはデフォルトを変えて作成したデータを入稿等の際は「仙台リビング新聞社入稿シート」の備考欄にご記入願います。

出力可能フォントについての制限事項。

できる限りアウトライン処理の上、入稿願います。アウトライン処理ができない場合は、入稿データを確実なものとするためフォント一覧をご確認下さい。

詳細

和文フォントに関しては出力トラブル（文字送りのズレ、文字バケ等）を避けるため、極力アウトライン処理をしてください。不可能な場合は、別紙「仙台リビング新聞社標準和文フォント一覧」を参照のうえデータの作成をお願いします。また、TrueTypeFont の場合は必ずアウトライン処理後、入稿ください。ただし、CID フォントに関してはフォントメーカー

により OCF との混在が不可な場合等がありますので、CID フォントの使用を開始する場合は、事前に当社と打ち合わせ後に使用するようお願いいたします。
また、欧文に関してもアウトライン処理をお願いします。

アミの掛け合わせをする際に 300%を超えないようにしてください。

300%を超えても印刷が不可能ではないのですが、印刷時にインキののり、つぶれ等が発生する等を防ぐためのものです。

詳細

PhotoShop で画像処理を行う際に、RGB で作業をし CMYK に戻す際に 300%を超える場合もありますので、CMYK に変換後、合成したデータを確認してください。

当社・印刷用 RIP 時のオーバープリント設定に関する注意事項。

基本として RIP 時に強制的に「Black のオーバープリント」は Yes、「PS のオーバープリント」は No になっています。「Black のオーバープリント」は小さい文字、明朝系の細い文字の版ズレがおきた際に目立たなくするために、他の色にのっても影響が少ない、また文字に使われることが多いスミを他の色の上にのせています。また、「PS のオーバープリント」は使用したつもりがないのにのってしまう等のミスを防ぐため、基本的に No になっています。

詳細

「Black のオーバープリント」は印刷的問題等があり、ノセ、ケヌキに関しては、お任せ頂きます。ただし、気づくことはないと思われそうですが、デザイン段階で、写真・アミの上に大きな面積でスミをノせてしまうと、後ろが透けたようになってしまいます（バックの写真、色アミ部分がスミベタの下に透けて見える）。当社としては、DDCP、プリンターの「Black のオーバープリント」機能で事前に見つけられるようにしていますが、もし、そのようなデータを作成する場合で、そのスミをのせた部分をケヌキ合わせにしたい場合は手法がありますのでご相談下さい。「PS のオーバープリント」に関してはご使用になりたい際は、「仙台リビング新聞社入稿シート」の備考欄にご記入願います。ただし、オーバープリントをかけたつもりではなかった部分にかかってしまった等のトラブルへの責任は負いかねます。

編集編

Illustrator Ver8.0 以降のバージョンの保存について。

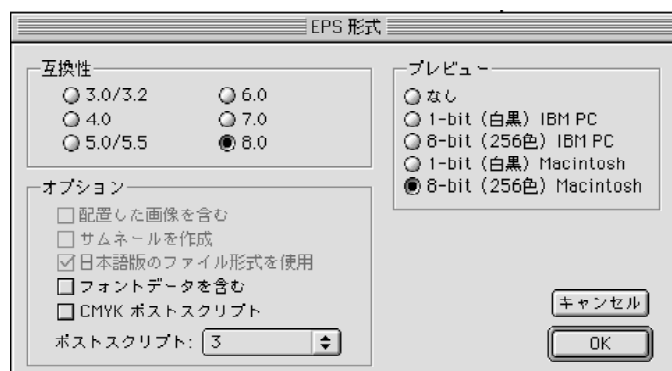
Illustrator Ver8.0 以降のバージョンで作成したデータを互換性を使用し Version を変えることは絶対しないでください。また、フォントデータを含むの欄はチェック無し、ポスト

データ入稿ガイド

スクリプトの欄を「3」で保存して下さい。

詳細

Illustrator を保存する際は、EPS 形式の保存欄の「互換性」でバージョンの変更はせず、データを作成したバージョンで保存して下さい。RIP 時のエラーの原因になります。また、イラストレーターのバージョンが上がり、グラデーションメッシュ等のさまざまな機能が付加されたことにより**ポストスクリプトレベル 2 では対応**できなくなっています。現状のポストスクリプトレベル 2 で作業を行うと付加された機能が反映されない、あるいは出力時にエラーになってしまいます。次の図を参照しポストスクリプトの欄を「3」にしてください。



トンボ外のデータは入稿前に必ず削除してください。

Illustrator 等のドロー系ソフトによく見受けられますが、トンボ外にある不必要なデータ(アウトライン前の文字、トンボ外で作成された素材等)がある場合がありますが、**入稿前に必ず削除**して下さい。

詳細

仕上がりサイズ・トンボサイズの統一、面付け作業を行うために、当社は基本的に QuarkXPress に貼り込んでから出力を行っています。この不必要なデータが仕上がりトンボの外に残っていることによって、QuarkXPress 等に貼り込む際にズレが生じたり、また、残がいの中に TrueTypeFont (孤立点としてでも) 等があると、印刷用 RIP 時の PriFright で止まってしまいます。

1色のデータを作成する時に、使用以外の色が入らないようにしてください。

データを見ると使用外の色がデータ内に残っている時があります。出力使用色以外の色でデータ作成していたためプリントではプリントされていたものがなくなる、もっと色が濃かったはずのものが薄くなってしまう等のことが発生します。

例えば、1色データなのにオブジェクトの影の部分が4色で作成されていて、出力すると色がなくなる、薄くなる等です。

詳細

4色については Illustrator の KPT 等のフィルタを使用した際に多いようです。フィルタに関しては設定の問題なのでデータ作成の際は御注意ください。また、その他の部分も作成時に注意していただくしかありませんのでチェックしてください。

編集、ドロー系アプリケーションでの画像のサイズ変更について。

QuarkXPress 等の編集ソフト、あるいは Illustrator 等のドロー系ソフトで貼り込んである画像を拡大・縮小しているデータが見受けられます。見た目には問題ないのですが、極端に縮小した場合は、出力の際の RIP でエラーをおこす、あるいは品質低下につながります。

詳細

PhotoShop で**写真のデータを開いて、拡大・縮小を行ってから貼込み**を行ってください。ただし、スキャナーメーカーの品質保証は 80～120%です。

写真編

PhotoShop データ（実データ、加工素材）の保存法。

印刷用の RIP 時に [エンコーディング：JPEG] を使用すると JPEG の圧縮、解凍等の理由により、出力時に 1色のデータが4色になったり、アミのない箇所（0%）にアミの再現がされてしまう場合があります、それらを防ぐために次項を確認して下さい

詳細

保存形式は、EPS または Tiff にしてください。仙台リビング新聞社の標準データとして、EPS に関しては、**カラー写真（4色）が [プレビュー：Macintosh8bit/pixels] [エンコーディング：JPEG(最高画質・低圧縮)] に、モノクロ(1色)は [プレビュー：Macintosh8bit/pixels] [エンコーディング：バイナリ] で保存**してください。また、EPS オプション内にある「ハーフトーンスクリーン情報を含めない」「トランファ関数を含める」「ポストスクリプトカラー管理」のチェック欄はすべて、チェックを外してください。Tiff の使用方法に関しては、Tiff オプションにある、LZW 圧縮の使用は可能です



RGB データの入稿について。

RGB で作成されたデータを RIP すると、意図していない色味のものになってしまいます。通常の写真分解よりも色調、画質等いろいろな面で、印刷物に使用するにはたくさん問題があります。写真が実データでありながら「RGB」で入稿されたり、IllustratorVer8 以降でカラーの設定が部分的に RGB でチント処理されたデータが入稿される場合があります。あくまでも**印刷物へ使用するデータは CMYK のデータで入稿**してください。

詳細

写真データ支給でデジタルカメラで撮影されたデータ (RGB) 等を使用する場合は、次に示す「サイズについて」「RGB から CMYK への変換について」を参照の上、作業をして下さい。

サイズについて

支給データが印刷物に使用する写真サイズが足りないという問題があります。この問題をなくすために、できるだけデジタルデータへの認識を深め、理解できれば、事前に防ぐことができます。

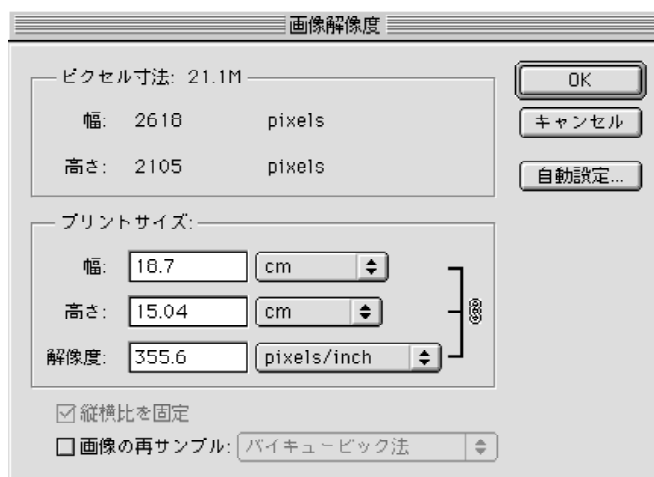
ピクセル数と 175 線出力時の使用サイズの関係

解像度	175線出力時サイズ
6144 × 4096 pixels	44.6 × 29.8cm
3072 × 2048 pixels	22.3 × 14.9cm
1536 × 1024 pixels	11.2 × 7.4cm
768 × 512 pixels	5.6 × 3.7cm

撮影したピクセル数が分かれば、上記のピクセル数と 175 線使用サイズの関係とてらし合せて、印刷物で使用できる大きさが分かると思います。よって、お客さまから支給されたデジカメデータは、できるだけ撮影したモード(ピクセル数)をお聞きになるとよいでしょう。(デジカメの説明書などには「ノーマルモード」の時は「何ピクセル」というような形で記載されています)

Photoshop を使用しサイズを確認する手順

- 1) 画像ファイルを開く。
- 2) 「イメージ」から「画像解像度」を選択する。
- 3) 「画像の再サンプル」のチェックを外し、プリントサイズの解像度の数字を「355.6」と打ち込む。(175 線[355.6dpi]使用の場合。)
- 4) 打ち込んだと同時に、プリントサイズが変更され、実際に印刷物に使用できるサイズ(「幅」と「高さ」)が表示される。



RGB から CMYK への変換について

RGB から CMYK へフォトショップで単純に変換をかけた場合、以下の問題が発生します。

- ・ GCR で変換をかけてきて、色調補正がしにくい。
- ・ シャープネスを入れていないので、ぼけているように見える。
- ・ 色に関して、白は飛んでいて、黒はつぶれている。
- ・ 彩度が落ちる
- ・ スミ版の入り方が多く、黒い写真にあがって見える。

上記の問題を完全に解消はできませんが、少しでも減らすために以下の項目に注意しながら変換作業を行って下さい。

Photoshop での CMYK 変換をする場合の注意点

GCR がかかってないか？（スミ版の設定）

- ・ Photoshop の初期設定では GCR になっているので UCR にチェックし、「黒インキの制限」を 80~90%とする。（CMYK 設定）
- ・ GCR は黒い機械など写真を真っ黒くみせる特殊な分解方法なので、通常は UCR でお願いします。

